

診療科	消化器内科	管理番号	
レジメン名称	RAM単独		
対象疾患・ステージ・適応外の有無等	適応: 化学療法後の2次治療以降、AFP: 400ng/mL以上、Child-Pugh分類A の切除不能な肝細胞癌		
本治療の位置づけ	がん化学療法後に増悪した血清AFP値が400ng/mL以上の切除不能な肝細胞癌		

	投与順	薬剤	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール														
						1日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目	週目	週目	
治療内容	Rp 1	生食	50mL	15分	iv	●														
		ポララミン注	5mg																	
	Rp 2	サイラムザ	8mg/kg	60分	iv	●														
		生食	250ml																	
	Rp 3	生食	50ml	15分	iv	●														
総投与時間	90分																			
血管外漏出時のリスク	サイラムザはノンピシカント																			
(備考)調製時・投与時の注意点など	サイラムザ投与時には、0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。																			

1サイクル期間	14日間
総コース数	PDまで
(併用薬)プレメディケーション	infusion reaction を軽減するため、サイラムザの投与前に抗ヒスタミン剤の前投与を考慮する。グレード1または2のinfusion reactionが現れた場合には、次回から必ず抗ヒスタミン剤を前投与し、その後のもグレード1または2のinfusion reactionが現れた場合には、抗ヒスタミン剤に加わえ、解熱鎮痛剤(アセトアミノフェン等)及び副腎皮質ホルモン剤(デキサメタゾン等)を前投与すること